

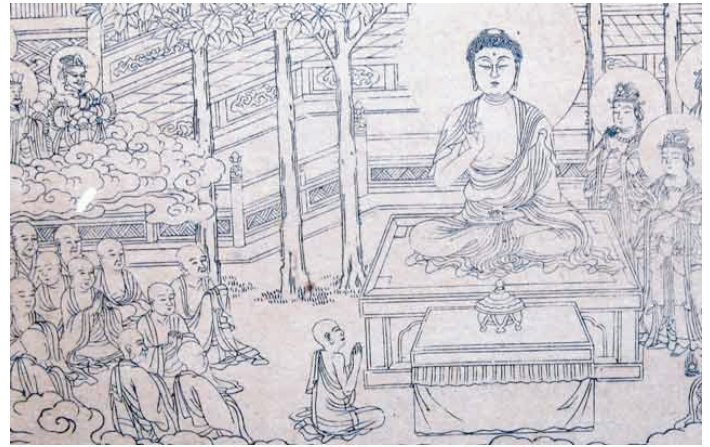
仏説阿弥陀経の絵解き その1

「仏説阿弥陀経変相(善光寺蔵版)」
(嘉永元年 森田易信 筆による木版画)

「仏説」とは「お釈迦様」がお説きになったお経という意味。
「阿弥陀経」は浄土三部経の一つで、「阿弥陀仏」と「極楽」について説かれたお経。

「変相」とは「お経に文字で書かれてあることを、絵に変える」という意味。

お釈迦さまが、「阿弥陀仏」と「極楽」のお話をされました。
あるとき、お釈迦さまは、「祇園精舎」という合宿所で、
1250人のお弟子さんと集会をもたれていました。



仏説阿弥陀経の絵



舍利仏(しゃりほつ)

真中に正面を向いて座ってらっしゃるのが、お釈迦様です。
右端に立っていらっしゃるのは、文殊菩薩、弥勒菩薩などの菩薩さま。
左上の雲に乗っていらっしゃるのは、帝釈天などのインドの神さまです。
左下の頭を丸めて法衣を着ているのは、弟子のお坊さん達です。

お坊さんの中で、一番前にいらっしゃる、舍利仏(しゃりほつ)さまを拡大した絵です。
舍利仏さまは お釈迦さまのお弟子の中の、一番弟子(長老)です。
お釈迦様は 舍利仏さまに、「阿弥陀仏」と「極楽」についてお話しされました。



広島別院本堂前



広島別院境内地

当時のまま残されているこの写真で見え難いですが、『還浄』と書かれた被爆納骨



広島別院会館前



親鸞聖人像の前

した。
門徒会館の横にひっそりとありました被爆納骨塔は、
移動し、被爆樹木であるソテツを見せて下さり、
親鸞聖人像にまつわるエピソードを聞かせて下さいまし
た。
先日(四月二十日)、善教寺仏教婦人会の皆さまと一緒に、本願寺広島別院へ参拝してきました。本堂にて、職員の方を導師に讃仏偈の読経。副輪番様より、ご法話の聴聞。その後、境内地へ移動し、被爆樹木であるソテツを見せて下さり、
親鸞聖人像にまつわるエピソードを聞かせて下さいまし

住職レター

塔の傘の部分と横が、爆風で破壊されていました。
広島別院のシンボル共命鳥は、「すべてのいのちの尊さや、存在を大切にしよう社会」の教え。戦争をなくし、平和を願う安芸門徒のシンボルです。共命鳥の教え、
永遠に守つていきたく
と、強く思いました。